公害資料館ネットワーク

公害経験から教訓へ 公害教育の普遍化事業

活動地域 🎜 長崎県、日本全域

ひろげる助成 3年目 知識の提供・普及啓発

フォーラム参加者

144人

ネットワーク参加団体

26 団体

今年度計画の達成度

100%

日標達成度

100%



苦労した点と工夫した点

■苦労した点

苦労した点はフォーラム実行委員会 の持ち方と、事務局の伴走支援の方 法。トップダウン方式ではなく、フ ラットな関係性を大切にし対応し

■工夫した点

フォーラムはハイブリッド形式で開 催したため、音声のトラブルがない ように努力した。また、現地見学を オンラインでも別途実施した。

公害の経験の継承が課題。公害の被害にあった地域では情報の風化が著し く、公害の経験を共有することが困難になっている。

国立公害資料館を創ることが必要ではないかということが世論になるくら い、公害の経験から学ぶことが重要視される。

活動内容と成果

- ●公害資料館連携フォーラム in 長崎を開催した。「平和と環境の重なりを 考えよう」をテーマにして、カネミ油症と長崎の被爆体験の継承から、公 害・環境・平和の重なりを学び合うフォーラムを行った
- ●公害学習入門書『公害スタディーズ』刊行と、それに伴う普及イベントを 開催した
- ●公害資料館ネットワークリーフレットをリニューアルし34か所に配架を 依頼、公害資料館の存在をアピールした



全助成期間の活動を振り返って

新型コロナウイルス禍での助成期間となったが、岡山と長崎の地域事 情に寄り添い、フォーラムという学びの場があることで、刺激となって 現地が元気になっていく機会を持つことはできた。また、新型コロナウ イルス禍でオンライン会議を開催することが普通となったことで、遠 方の人でも議論しやすくなり、その議論の深まりを持って「公害スタ ディーズ』という公害学習の入門書を刊行することにつなげることも できた。



₹712-8034

岡山県倉敷市水島西栄町13-23

電話: 086-440-0121

E-mail: kougaishiryoukan@gmail.com

HP: https://kougai.info/





異なる社会課題と公害との重なりを学ぶことを意識して、公害の経験の継承を多角的にとらえて、担い手を増やしていくことを 目指したい。